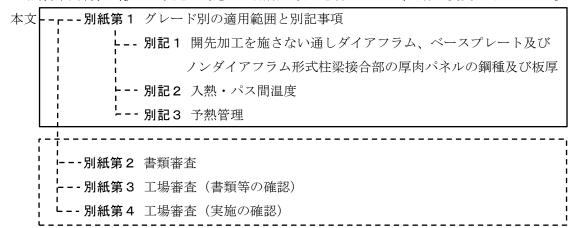
性能評価基準改正概要

1. 変更箇所

性能評価業務方法書(性能評価基準)の改正

実線囲み部分は、内容が変更されています。

点線囲み部分は、JASS6 改定に対応した用語の改正を行っており、内容の変更はありません。



2. 変更概要

- 1) 通しダイアフラム及びベースプレートの板厚規定の改正
 - ① Jグレード及びRグレード 通しダイアフラムの2サイズアップの最大板厚規定を緩和し、ベースプレートと同じ板厚 とした。
 - ② M及びHグレード 通しダイアフラムの2サイズアップの最大板厚規定を撤廃し、ベースプレートと同じ板厚 とした。
 - ③ Sグレード 変更なし
- 2) ノンダイアフラム形式柱梁接合部の厚肉パネルへの対応 製造が中止されたGコラム及びSTコラムを削除し、ノンダイアフラム形式柱梁接合部の厚肉 パネルの適用に対応した。(ダイアフラムと同じ扱い)
- 3)入熱・パス間温度管理表(別記 2)の改正 表中の溶接材料記号等の見直しをした。入熱・パス間温度条件の規定内容の変更はない。
- 4) 予熱管理を明確化

旧規定Mグレード及びHグレードの適用範囲の規定(別紙第1)において、一定の板厚を超えるものに対して「適切な予熱行う」としていたが、その適切な予熱規定である別記3「予熱管理」が引用されていなかったので、予熱管理を別記3によって行うことを明記した。なお、別記3「予熱管理」の規定内容に変更がない。

5) その他

JASS6改定に合わせ、用語の見直しを行った。なお、審査項目及び内容自体の変更はない。